全　議　事　録

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 令和元年度第１回山陽小野田市文化財審議会 |
| 開催日時 | 令和元年８月２８日（水）　１３時３０分から１５時００分 |
| 開催場所 | 教育委員会会議室 |
| 出席者 | 松永保美委員、嶋田紀和委員、德重壽美雄委員、瀬口哲義委員開初茂夫委員、磯部吉秀委員、内田陽三委員 |
| 欠席者 | なし |
| 事 務 局 | 河上雄治（社会教育課課長)・若山さやか（歴史民俗資料館館長）池田哲也（社会教育課課長補佐）・日浦　操（社会教育係長）安藤知恵（文化財係長） |

１　開会のことば

２　辞令交付

３　教育長あいさつ

４　委員・事務局あいさつ

５　議題

（１）会長・副会長の選出について

会長：嶋田委員、副会長：磯部委員に決定

（２）勘場屋敷の答申について

会　長：前回審議会で議論いたしました。勘場屋敷は残すべきだと。問題は活用方法で

あります。今回事務局で答申案をまとめてもらっていますので、よろしくお願い

します。

事務局：前回の審議会でご審議いただきましてありがとうございます。この資料のとおり

　　　　答申の内容でございます。山口県内の最古級の貴重な建物であり、保存活用して

　　　　いく必要があるとご審議をいただきましたので、この部分をしっかり明記をして

　　　　います。史跡として指定をしたら建造物の保存が必要でなくなることから、史跡

　　　　としての指定は適当でないと、ここも明記をしています。活用についてですが、

　　　　地域の方々がこの勘場屋敷を認識していただき、愛着をもっていただかないと

保存活用にはつながらないと意見をいただきました。瀬口委員から住吉本町の

セメント社宅の例を挙げて、ご指導をいただきました。地域が愛着をもって保存

活用に対してしっかり考えていく必要があると。そのためには行政からの働きか

けが必要であるということもありましたので、こちらも明記をしています。副会

長からの働きかけやご支援もいただく中で、地元の浜自治会に管理をお願いする

ことになりまして、すでに草刈り等していただいております。この部分はご報告

ということで付け加えさせていただきます。

会　長：今回は事務局から事前に会議資料が配付されました。とても良いことなので、

今後もその形でお願いします。効率的な会議ができますので。

勘場屋敷の答申についてご意見をお願いします。

委　員：史跡にこだわってしまって。最終的に建物がなくなったら史跡として存在価値を

残さないといけないが、建造物がまだある状態で、県内最古級の建物である。

　　　　４００町歩の干拓をした工事事務所で、干拓をしたものが実際の物でわかるとい

　　　　う物が残っていくという状態にしていただきたいと思っています。この次は建物

　　　　の文化財指定という答申をしていただければ。また時間がかかると思いますが。

会　長：地元で保存活用はするのでしょうか。

委　員：浜五挺唐樋を浜の自治会が周辺の管理清掃をしています。勘場屋敷は今週の土曜

　　　　日にも草刈りをされます。先日高泊小学校の先生、職員と一緒にこの周辺をまわ

りました。地元自治会も本気になってらっしゃるので、敷地の中まで草刈りをし

ていただけると、敷地の中まで入れるようになるといいなと言われていました。

今までは素通りでした。今回みんなで掃除をしながら周辺の外観を綺麗にしよう

と張り切っておられます。活用についてまでは詳しくは聞いていません。

事務局：活用については、高泊小学校が総合学習の時間で、この周辺を散策されている

　　　　ようです。

会　長：ふるさと文化遺産で学校にすべてファイルを配付していますよね。高泊小学校以

　　　　外の近くの学校が郷土を学ぶフィールドワークに行くことはありますか。

事務局：今のところは聞いていませんが、資料は各学校に配付しましたので、活用してい

ただきながら、現地に赴くような流れを作れればと思っています。他校区からの

行く手段が困難となり、各学校の事情もあると思います。

委　員：小野田小学校は浜五挺唐樋までは来ているみたいです。

会　長：近隣の小学校はフィールドワークで行ける距離であります。子供たちが見て、

聞いて、触れることによって地域を知ることになります。ガイドが必要であれば

語り部の会に依頼をいただいて活用をしてください。

事務局：語り部の会については、郷土史の話を先生方が難しいということであれば、ご協

力していただけるとご紹介させていただいています。

委　員：勘場屋敷は、高泊開作を造った楊井三之充について詳しく知ろうとすれば、その

第一歩になるはずです。そういう位置づけで一生を語るという意味では、非常に

重要な史跡である。建物の近くに寄らないように柵を付けるなどすれば、ある程

度の安全性は確保できます。小学校では地域の歴史に興味をもっておられるよう

ですので、高泊開作の話をする時には勘場屋敷は起点になりますので、重要性が

あると考えた方が良いです。

委　員： 勘場屋敷の向こうに硫酸瓶で壁が出来ている。これも小野田のシンボルであるが、

　　　 今は草がいっぱい生えている。歴史的な遺跡として勘場屋敷だけでなく同時に

　　　 みられます。屋敷の屋根は

しろぶきである。茅葺、しろぶき、藁葺はこのあたり

　　　 に残っていないです。昔こういう家に住んでいたという意味でも建物は残すべき

であります。それに観光がついてくればいいですが。お土産品とか、人が常駐し

ないといけませんが。上段の間と江戸時代初期の庭園とは残していただきたいで

す。

会　長：２か月前に高泊小学校が楊井三之充の紙芝居を学校に置きたいと話がありました。

昨日、語り部の会で持っている紙芝居23作を図書館に寄贈しました。

　　　　学校に紙芝居を置くということは、子供たちの教育に使うということです。紙芝

居だけでなく、現場に出て浜五挺唐樋や勘場屋敷を見ることになりますので、

勘場屋敷は残していくべきであります。

委　員：江戸時代の建物が保存されると山陽小野田市のトップクラスの観光資源になると

思いますので、できればそのように進めていただけたら。

４００町歩の広さがどのぐらいの広さか、子供たちは分からないと思います。

小野田に住んでいても。それを干拓したのですから、その一番の大元の勘場屋敷

を大切に保存していければと思います。

委　員：小学校３年生で地域に出て産業や歴史を学び地図作りをします。浜五挺唐樋と

セットになって動けます。地域の史跡にかかわっていくので、そこを大切にして

いければ。日本は昔から藁葺の方が地震があっても被害が少ないし、生きる知恵

としての藁葺があったのも子供たちに知ってほしいです。

会　長：今後の課題は、保護保全と活用について、審議会としても見守っていきたいと

　　　　思います。答申案はよろしいでしょうか。この案でお願いします。

事務局：会長から教育長に答申をお渡ししていただきたいと思います。

（３）ふるさと文化遺産への「旧山陽道」の登録に向けた流れ

事務局：ふるさと文化遺産のファイルは、今年の４月に作ったもので、この中に４つの

　　　　項目の登録事項をファイリングしております。各小中学校にある程度の数を配付

　　　　し、校長先生とお話をするなかで、郷土学習の場で活用していただきたいと、

　　　　置かせていただいている状況でございます。

まずふるさと文化遺産登録要綱でこの登録の趣旨です。地域の財産として親しま

れ、大切にされている文化的財産を再発見し、保護及び活用すること、文化的

財産愛護意識の向上を図ること、郷土愛を醸成することを目的にしております。

登録しようとするときは、山陽小野田市文化財審議会の意見を聴くものとすると

しており、今回お諮りしているところです。

今回「旧山陽道」の登録に向けて資料を配付しております。まだ正式ではなく

概要版として各章立てをしてお示ししております。まずは全体の流れがこういう

形でのご紹介でいいかという方向性と、章立てを違う方向性からも探ってみては

どうかというご意見、また登録後の活用についてもご意見をいただければあわせ

てお願いいたします。

会　長：皆さんのご意見がありましたらお願いします。

委　員：沈流亭の建物の写真をもう少し近づいてほしい。スポットをあててもらえれば。

事務局：この近辺でこの資料に載せる建物があれば教えていただきたいです。

委　員：山陽道は古代の街道ということで、駅家があったりしている。今残っているもの

　　　　はその時代の建物は残っていません。

委　員：沈流亭手前の枝村家は建物としては古いです。

委　員：鴨橋から東側が厚狭市ですので、そこが古い地域になります。

　　　　明治４２年の図面でいうと、新幹線の手前の道で曲がっていますので、資料の

　　　　道と違っています。今昔マップとインターネットで検索すると今と昔の地図が

　　　　重ねてでてきます。どこかの大学が作っているホームページで厚狭は明治時代

　　　　のがでてきます。

事務局：この地図を作る段階で、現在の旧山陽道を歩いてみようというテーマで、各場所

のご案内と地図を作っています。新幹線の手前の道を曲がると行き止まりになっ

ているので、今回は実際に歩ける道を紹介しています。当時の道がきちんと別に

示せられるといいと思います。

会　長：地図の山陽道に色を付けたらいいと思います。

　　　　厚狭市に対して言及してはどうか。昔の状況はどうだったかなど。

事務局：第２章で厚狭市については内容を充実して紹介する予定です。

委　員：伊佐道の茅壁醤油屋がいつ建ったかは分からない。

委　員：庄屋ののれんは通常は布で作られているが、ここは板で作ってあります。

　　　　鴨橋から東川は殿町、本町があり、通りは古いです。

委　員：地図がありますが、厚狭毛利家居館跡は入れた方が良いのでは。

委　員：石垣と井戸が残っていますので、そこが紹介できれば。

委　員：古代最大の幹道これはその通りで、大きく分ければ古代の山陽道と、江戸時代の

　　　　山陽道。中世もあったが変化もないし、利用する人も限定されていたので、ピッ

クアップされた古代と江戸は正解だと思います。古代と江戸時代のあととを分け

て書いていただけるといい。次の序章で分けてあるがもう少し丁寧におっていた

だけると、最初は埴生が吉田に代わっていったという歴史にふれてもらう。

　　　　全体の構成は素晴らしく、これに各章の肉付けをしていただきたいです。

各章立ての中に、現在の写真を挿入できれば、これを見て回ることができますが。

事務局：一番載せやすいのは、第２章の厚狭宿のところが、当時厚狭市の形態の紹介を

　　　　して、現在はこのような商店街が残っています。伊佐道に寄り道をしたら醤油屋

　　　　があるとかの示し方はできると思います。

会　長：山陽道の現在の道標が少ないです。旧街道を歩く人が多いが、現在の人に分かり

やすい道標をどこに設置するかを地図の中におとすと歩きやすくなります。

現在何カ所ぐらい道標を設置しようとお考えですか。

事務局：以前委員の方と一緒に歩いていただきましたが、迷いやすい個所がかなり多い

　　　　のが現状です。それを全部クリアしようとすると２０個所ぐらいは必要でありま

す。例えば道標的にはハード面の整備では１０個所ぐらいにおさえて、手元の

マップやWEB上のマップで取れたりするものに、そこの写真を載せてお客様に

分かりやすい情報を渡していかないとはいけません。また道標の設置場所の所有

者の問題もありますので、ここが市ならいいですが、民間の方はなかなか難しい

ので、設置場所の検討もこれから進めていきたいと思います。

委　員：７個所ぐらいでいいのでは。

事務局：後半の山道がかなりわかりにくいです。

委　員：現在の幹線道路の出入り口だけでいいのでは。小さい道との分岐は考えなくて

　　　　いいのでは。あとは地図で補えば。

委　員：石炭の地域から、福田から蓮台寺に入る入口が分かりにくいです。

委　員：赤間ヶ関道の標識が整備されているので、できれば同じような形態にしたら良い

　　　　ではないですか。

委　員：４章の中で、板垣城の屋敷は現洞玄寺にあったので書いておいた方が良いです。

事務局：追加いたします。

委　員：マップ上で地名が入っていない所がありますが。

委　員：⑩広瀬、⑪石丸です。

委　員：山陽道を歩くというのが前提で、歩く時に何を視点に歩くのか。自然なのか街並

みなのか、文学なのか、文化なのか。自然も出ているし、厚狭宿で街並みもある

し、４章では文学にも触れられている。飯尾宗祇が歌を詠んでいれば、それも

あわせて紹介するといいのでは。山陽道沿いの寺社仏閣も含めて文化的な要素。

街並みの中には産業もありますし、地名の由来なども入ってくるし、歩きながら

何の視点で歩くのかがあると面白いです。

事務局：飯尾宗祇の詠まれているものはあります。筑紫道記に地名も出ていますので、

　　　　紹介したいと思います。

会　長：今後の登録までの流れをお願いします。

事務局：意見をいただきまして、文章や写真や図など付けたしをしていきます。また今後

歴民の館長と県文書館に行って、古い資料などを撮影させてもらい、データの

中に入れていきますので、ボリュームは出てくると思います。次回は来年の2月

頃に審議会を実施する予定で、会議前に事前に資料を配付させていただき、ご意

見をいただき、意見を盛り込めるようにして、最終的には２回の審査会でご承認

をいただければと考えています。

６　その他

委　員：旧厚狭図書館の資料を青年の家に持っていってますが、その後はどうなっていま

すか。

事務局：現状はそのままです。ただ大田家文書は青年の家に保管していますが、厚狭図書

　　　　館と一度協議をしまして、今後大田家ともお話しをさせていただき、今後の保管

　　　　場所などを協議する予定にしています。保管場所を確保して動いていかないと

いけませんので。

　　　　現在、小野田児童館にも旧小野田の民俗資料がございます。資料が各所に点在

　　　　しているので、確実に保存しなければならないものを選別して、それがどの程度

　　　　あるのか、それを１個所にまとめて整理するためにどの程度のスペースが必要

　　　　なのかを把握し、再来年度までには整理を完了したいと考えております。一番

良いのは収蔵庫を整備してければいいのですが、今後協議を進めていきたいと

思います。

委　員：整理をする専門の方も必要なのではないでしょうか。これは課題です。

事務局：１件ご報告です。浜五挺唐樋のロクロの１本を修復いたしました。ロクロや招き

戸もかなり古くなっていますので、計画的に修復をしてまいりたいと考えており

ます。

委　員：山口銀行が倉庫としている旧小野田銀行を残していかないといけないので、教育

　　　　委員会でも注視しておいてもらいたいです。